

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
西北五地域	五所川原市・つがる市・鶴田町・中泊町・ 西北五環境整備事務組合	平成25年度～平成29年度	平成25年度～平成29年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標		現 状 (平成23年度)	目 標 (平成30年度) A	実 績 (平成30年度) B	実績/目標
排出量	事業系 総排出量	10,616t	9,959t (-6.2%)	11,983t (12.9%)	-208.1%
	1事業所当たりの排出量	1.8t	1.7t (-5.6%)	2.4t (33.3%)	-594.6%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	39,720t	37,088t (-6.6%)	37,794t (-4.8%)	72.7%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成23年度)	目 標 (平成30年度) A	実 績 (平成30年度) B	実績/目標
総人口		123,666人	116,453人	110,597人	—
公共下水道	污水衛生処理人口	24,450人	26,451人	25,604人	96.8%
集落排水施設等	污水衛生処理人口	15,590人	19,140人	15,688人	82.0%
	污水衛生処理率又は污水処理人口普及率	12.6%	16.4%	14.2%	42.1%

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

### 【ごみ処理】

#### ・排出量

これまで家庭系廃棄物として排出されていた事業系廃棄物について、事業者等への指導により適正に事業系廃棄物として排出されるようになったことが推定される。このほか、事業系一般廃棄物多量排出事業者の減量化・再資源化計画の策定が進まなかったことによるものと推定される。

### 【生活排水処理】

#### ・公共下水道

平成30年度における公共下水道の汚水衛生処理人口は目標値を下回っており、目標を達成することができなかった。

ただし、公共下水道の汚水処理人口普及率については目標を上回っていることから、目標を設定した計画策定当初から社会状況等が変化したことで、総人口が当初の推計値より大きく減少したことが汚水衛生処理人口の目標を達成できなかった要因と考えられる。

#### ・集落排水施設等

平成30年度における集落排水施設等の汚水衛生処理人口および汚水処理人口普及率はどちらも目標値を下回っており、目標を達成することができなかった。

この要因としては、公共下水道と同様に総人口が当初の推計値より大きく減少したことのほか、計画策定当初に推計していた集落排水施設等の人口増加が公共下水道人口や合併処理浄化槽人口の増加に回ったものと推定される。

### 3 目標達成に向けた方策

#### 【ごみ処理】

(排出量)

事業者に対する環境教育や普及啓発活動を積極的に実施し、引き続き、事業系一般廃棄物多量排出事業者の減量化・再資源化計画の策定を推進する。オフィス町内会の利用など紙類の資源回収を推奨することにより、排出量の削減を図る。事業者向けの出前講座を実施することなどにより事業者の意識啓発に努める。

#### 【生活排水処理】

生活排水処理については、社会状況等の変化により、計画策定当初の各種人口の推計値から増減が見られたものの、全体の汚水衛生処理率の実績としては目標を達成することができている。

今後も引き続き合併処理浄化槽の設置補助や公共下水道への早期接続への啓発等を行い、適正な生活排水処理の普及を図ることとする。

#### (都道府県知事の所見)

#### 【ごみ処理】

(排出量)

目標には届かなかったものの、目標達成率は72.7%でありごみの減量化は進んでいる。

改善計画では目標達成できなかった事業系廃棄物については、その要因を分析し、目標達成に向けた具体的な方策を示しており、更なる減量化が期待される。

#### 【生活排水処理】

生活排水処理について、集落排水施設等の汚水処理人口普及率は目標を達成できなかったものの、公共下水道及び合併処理浄化槽等の汚水処理人口普及率は目標を達成しており、未処理の汚水処理人口の解消について着実な進捗があったものとする。

今後も引き続き浄化槽設置整備事業等を着実に実施し、効果的かつ効率的な生活排水処理施策の実施を図り、残る未処理人口の早期解消及び生活環境の保全に努めていくことを期待する。